学校教育理念　：「凛　とした学校の共創」

教 育 目 標　：自ら学び、自ら考え、生き生きと活動する長松っ子の育成

令和３年４月 27 日　１号　文責　長松小学校　校長　佐々木講吉

大航海への船出！　気を引きしめ

大型客船「長松小丸」の出航です。
人事異動後の春休み中に，クラス分け→学級担任配置。そして児童情報の引継ぎや教室環境整備を済ませました。

４月６日の始業式に，子どもたちが乗船してきました。児童 761 名，職員 65 名による世界一周の大航海です。来年の３月 24 日までの約一年間をかけて，同船した仲間で学習や学校行事などを通し，教育目標に掲げている,「自ら学び，自ら考え，生き生きと活動する長松っ子」を目指します。今よりも更に成長した姿で帰港します。

航海の途中では，楽しいこともあれば，いじめや登校しぶり，学習不振など厳しい状況にも遭遇することでしょう。職員は，未然防止に努め，リスクを最小限に留めるようにチームで対応してまいります。
時には，ご家庭への協力のお願いもしますが，大切なのは，教師と親が正確な情報を共有し，子どものよき支援者となることでしょう。協調がなければ，長松丸は座礁します。協調こそ苦難を乗り越える手段なのです。

乗客と船員を路頭に迷わせないためにも，長松小丸船長の私の責任は重大です！

子どもたちの笑顔は　薬！

「おはようございまーす。」
登校時の子どもたちのあいさつ。
私の元気になる処方箋です。

「言葉は花束にも，ナイフにもなる。」と言われますが，子どもの遊びの会話で「死ね」「くそ！」「がい児（＊障害児の略）」を聞くと，薬が毒となります。
口癖で使っていることも多いようです。思いやる，がまんする，正直になるなど道徳心の低下に心が痛みます。

本校では，昨年から自問教育と称し，子どもたちの心（玉）みがきを実践しています。
保護者の方にもご理解いただきたく，自問教育のリーフレットを作成し，本日配布しています。ご一読いただき，ご家庭でも玉みがきを実践時ただければ効果は一層高まると思います。

子どもたちの笑顔が溢れる学校，家庭，地域となることを期待しています。